

社会科の学習のその後・・・

(3年生：社会科)

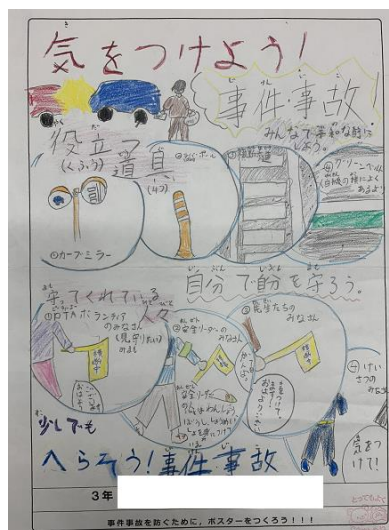
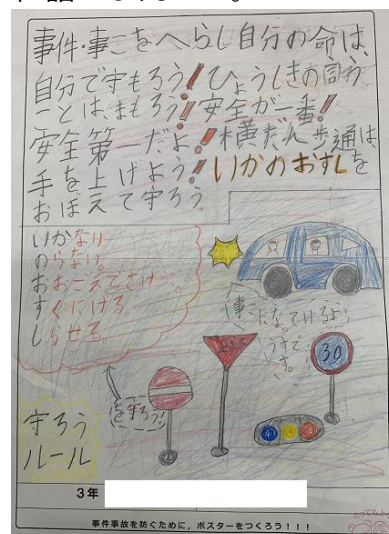


3年生の社会科では、大津市をはじめ身近な地域や、その地域内での危険防止、スーパーマーケットや工場の工夫などを学習してきました。身近な学習であるが故に、子どもたちの日々の生活に密接に関わってくるものばかりです。見学やインタビューなどでは、多くの方々やゲストティーチャーにお世話になりました。

地域安全の学習で来校いただいた子ども安全リーダーさんからは、不審者対策や事故防止を訴えるクリアファイルを、膳所駅前交番からは反射材の付いたストラップをいただきました。子どもたちの積極的な社会との関わりや安全を、子どもたちを取り巻く皆さんが願ってくださっています。子どもたちは、学んだことを生かして附属小全校のみんなに安全を訴えかけるポスターを丁寧に作成し掲示しました。自分だけでなく、みんなに安全・安心の社会参画に関ってもらい、事件・事故を防止してこの気持ちがかもったものとなりました。

子どもたちの学びの様子や学びを生かそうとする熱意が伝わり、冬休み以降も学習に関わってくださった方との交流は続いています。冬休みの間に、膳所駅前交番から、「警察官立寄所」の張り紙をいただき、先日、子どもたちに紹介して小学校の入り口に掲示をはじめました。また、大津板紙工場からは、次年度(2022年度)の社内安全ポスターのイラストを子どもたちに書いてほしいとの依頼がありました。前年度までは社員さんが作成していたイラストですが、「当社としては、ぜひ附小の子どもたちの絵をポスターに使用させて頂きたいと思っています。従業員も間違いなく目がいくので効果は高いと思っています。」と、話してくださっています。今まさに期待に応えるべく3年生で作成中です。

このように、社会科は授業が終わればそれで学習が終わるわけではないことを、とても実感しています。先日始まった3年生最後の社会科の学習「自分たちが通う大津の移り変わり」では、初めて歴史に関わる項目や少子高齢化、そして税金についても学びます。1時間、1時間、たくさんの資料からしっかり考えて、学びを自分の将来に生かして欲しいと思っています。



(社会科：西嶋 頼基)